

市民タイムス

安曇野

第2安曇野 7面に

発行所 市民タイムス:本社/〒390-8539松本市大字島立800番地
TEL(0263) 受付47-7777 編集47-7774 広告48-2000 販売47-4755 ©市民タイムス2017年
FAX(0263) 受付48-2422 編集47-1654 広告47-8585 販売48-2422 支社/安曇野・塩尻 支局/長野・木曾

安曇野支社/〒399-8304安曇野市穂高柏原2684
TEL(0263)82-0001 FAX(0263)82-0010

こども病院増築棟披露

小児集中治療室 心癒やす優しい絵も

重症の子供たちへの対応の充実と治療の強化を図るため、小児集中治療室(PICU)の増床工事を進めている県立こども病院(安曇野市豊科、原田順和病院長)は13日、増築したPICUの内覧会を開いた。患者や家族が落ち着くように壁などに優しい絵を描く「ホスピタルアート」が施された室内などが公開された。増築されたPICUは医療機器の搬入後、18日に使用を始める。(秋原真一)

こども病院は、P I R I、壁には明るい絵がC Uを現在の8床から描かれている。ホスピタルアートをプロデュースする計画で、総事業費約6億7000万円を(東京都千代田区)が監修した絵で、ベッド隣接する場所に増築棟ごとにテーマカラーを建設していた。増築棟には8床あ



ホスピタルアートが施された増築棟のPICU



ホスピタルアートを監修している高橋さん(中央)と談笑する原田病院長(左)

こども病院は、地域の病院で受け入れ困難な小児重症患者が集中し、P I C Uが満床の状態が恒常化していることから、増床することになった。増築棟の使用開始後、現在のP I C Uの改築に着手し、今年9月に12床全ての使用を開始する。原田病院長は「私たちの思いが詰まったP I C Uになっている」と話している。

風船などがかわいらしくデザインされている。国内外でホスピタルアートを手掛けている高橋さんは「患者さんやご家族が前向きに

増築棟には、広い窓から常念岳などが一望できる個室もある。スタートアップがどこにいても患者の状態を知ることができるよう、心電図や血圧などを示すモニターも複数箇所に設置されている。

増築棟には、広い窓から常念岳などが一望できる個室もある。スタートアップがどこにいても患者の状態を知ることができるよう、心電図や血圧などを示すモニターも複数箇所に設置されている。

なって、エネルギーが出てくるように願いを込めて描いている」と話し、明るく落ち着いた空間をつくり出している。ホスピタルアートの費用は約700万円、全国からの寄付金で賄った。増築棟には、広い窓から常念岳などが一望できる個室もある。スタートアップがどこにいても患者の状態を知ることができるよう、心電図や血圧などを示すモニターも複数箇所に設置されている。